

平成28年度 事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

下伊那西部シルバー人材センターは20年11月に発足し、23年4月公益法人に移行して6年を経過しました。28年度の年度末の会員数は179人で昨年度比8人減となっています。契約高は派遣を含め4,638万円で前年度比107.8%と発足以来最高になりました。また、会員の就業延数は9,277人日で、こちらも前年度比107.8%と大幅に上回りました。

全国的に景気は回復していると言われてはいますがなかなか実感できない中で、このように契約額が増加したのは、管内3村当局及び同社会福祉協議会などからの支援とともに、会員の誠実な仕事ぶりが評価されて、受注を頂いていることで大変喜ばしいことです。就業の内容をみると草刈りをはじめ屋外の一般作業が約7割を占めることから、夏場を中心に汗水流して会員の皆さんが就業に積極的に取り組んだ結果であります。

受託事業の契約高を本所と根羽事務所の状況でみると、本所管内は就業延日数では前年度を2.6%上回る4,764件ですが、契約高は2.9%減の1,923万円となっています。一方、根羽事務所管内では就業延日数が13.8%増の4,513件で、契約高も4.3%増の2,423万円と大きく増加しました。根羽事務所の増加は、林業・土木関係企業等からの大口受注が増加したことが要因となっています。

当センターは有料職業紹介事業が平成26年10月から、労働者派遣事業が平成27年4月から実施事務所として認められ、27年4月から適正就業の面から請負・委任にそぐわないものの労働者派遣事業への切り替えや新たな発注者の開拓を行なっています。28年度の状況は、受注は5業所、登録派遣会員20人うち派遣会員12人、就業延日数590人日、契約金額は前年度比7.1%減の291万円でした。派遣事業については、賃金部分にも消費税が付加されるなど、手数料率が高いことなどから、契約が解約され更新されなかったケースや新規契約が出来なくて契約額の減少となっています。

会員については、団塊の世代の多くの方が雇用等から引退していますが、入会者は思ったより少なく、年度末の退会者もあり179人と伸び悩んでいます。これらの方々是被雇用者であったケースが多いことから、就業のニーズと受注業務とのミスマッチが課題となってきていることから、新たな就業の場の確保が急務となっています。

当センターは27年度に公益法人化から5年が経過したのに伴い、今までの実績と反省を踏まえ、28年度からの「中期5ヵ年計画」を初めて策定しました。28年度の契約実績等を5ヵ年計画の目標値と比較しますと、会員数は目標192人に対し179人、受注

件数は目標 1,000 件に対し 913 件と目標には届きませんでした。契約額は目標 4,590 万円に対し 4,638 万円と僅かながら超えることができました。引き続き 5 カ年計画に添って、一層の適正な事業運営を推進していく必要があります。

安全就業には特に心掛けてきたところですが、28 年度は傷害 5 件、損害 1 件の事故が生じ 1 ヶ月以上の入院事例も発生しました。「安全はすべてに優先する」という就業の鉄則を会員全体で共有しつつ、就業前の点検確認などにより就業中は勿論、移動中の交通事故の防止に努めていきましょう。

28 年度は、チェンソーを使用する機会が多くなっていることから、技能の向上と事故防止のためのチェンソー取扱い安全技能講習会を開催しました。三村から会員 19 名の参加があり座学と実技を行ないました。また、根羽地区懇談会と阿智地区の班長会議を開催し、厚生労働省により作成された適正就業ガイドライン周知と事故防止のための研修会を開催しました。引き続き、会員の技能の向上と安全・適正就業に努めると同時に、組織体制の充実を図ってまいります。

地域に貢献するシルバー人材センターとして、ボランティア活動にも取り組んでいます。28 年度はシルバー人材センター法制化 30 周年の節目の年であり、記念行事として全国で 10 月の事業普及啓発促進月間に合わせボランティア活動が行なわれました。当センターでも普及啓発月間を中心に保育園の環境整備作業等を 5 日間に延べ 46 名が参加して行ないました。参加者は前年より少なくなりましたが、公益法人として今後も多くの会員の積極的な参加をお願いするところです。

「下伊那西部シルバー便り」を年 2 回発行し、会員及び地域の皆さんに活動状況を紹介するとともに、仕事の依頼、会員募集のチラシも作成して管内 3 村の全戸へ配布し、受注の拡大等の PR 活動を進めました。

3 月末の会員は 179 人ですが、この一年に就業した会員は請負・派遣合わせ 160 人、年間就業率は 89.4% で前年度をわずかに減少しました。限られた山間地域であり会員の希望する職種や地域的、交通手段等と発注者とのずれもありますが、引き続き未就業会員の解消に取り組む必要があります。

シルバー県連合に加盟してから、就業日数、配分金等とも県下 21 シルバー平均の半分程度に引き上げることを当面の目標として取り組んでいます。28 年度は就業した会員数からみた一人当たりの年間就業日数は 61.7 日と前年度とほぼ同様ですが、配分金等は 26 万円で、前年より 3 万円増加し、県下シルバー平均の概ね 50% という状況になりました。年金プラス α で生活の一助にもなり、金銭的にも頼りになるシルバー人材センターとして、引き続き就業機会の向上を図り就業延数及び配分均等の増加目標も含めて続伸させる取り組みが求められます。

公益社団法人へ移行して6年、当地方で唯一の公益社団法人として、ガバナンス及びコンプライアンスを重視して、名実ともに公益法人にふさわしい組織として、役員・事務局員はもとより会員各位が一体となって、センターの向上を引き続き目指していきましょう。

総会・理事会の状況

【総会】

H28.5.27 第6回定時総会(出席会員 38 名、委任状出席 121 名、計 159 名)

- ・平成 27 年度補正予算の確認
- ・平成 27 年度事業報告の承認
- ・平成 27 年度収支決算報告の承認
- ・平成 28 年度事業計画の確認
- ・平成 28 年度収支予算の確認
- ・配分金規約の一部改正の確認

【理事会】

H28.5.13 第1回理事会(出席理事 14 名、監事 2 名)

- ・会員動向と入会申し込み者の確認
- ・業務の運営状況
- ・平成 27 年度補正予算(案)の審議・承認
- ・平成 27 年度事業報告(案)の審議・承認
- ・平成 27 年度収支決算(案)の審議・承認
- ・代表理事・業務執行理事の自己の職務の執行状況の報告
- ・第 6 回定時総会の開催準備等
- ・平成 28 年度各種支給基準等

H28.9.29 第2回理事会(出席理事 13 名、監事 2 名)

- ・ 会員動向と入会申し込み者の確認
- ・ 業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・ 専門部会の事業計画の確認
- ・ 適正就業ガイドラインの確認
- ・ 業務拡大に係る意向調査の確認
- ・ 安全・適正就業パトロールの報告
- ・ 事故発生の報告

H28.12.15 第3回理事会(出席理事 13 名、監事 1 名)

- ・ 会員動向と入会申し込み者の確認
- ・ 業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・ 代表理事・業務執行理事の自己の職務の執行状況の報告
- ・ 事故発生の報告
- ・ ボランティア活動実施状況の報告
- ・ チェンソー講習会の報告
- ・ 適正就業ガイドラインの研修

H29.3.16 第4回理事会(出席理事 14 名、監事 1 名)

- ・ 会員動向と入会申し込み者の確認
- ・ 業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・ 平成 28 年度補正予算(案)の審議・承認
- ・ 平成 29 年度事業計画(案)の審議・承認
- ・ 平成 29 年度予算(案)の審議・承認
- ・ 資金及び設備投資の見込みについての確認
- ・ 定款の一部変更(案)の確認
- ・ 第 7 回定時総会開催日程等の確認
- ・ 任期満了に伴う役員を選任の確認